

ときわ
中央西

令和6年度
第1号 6.8.20
ときわ会
新潟中央西支部

巻頭言



人とつながって学ぼう

ときわ会新潟中央西支部

支部長 小林 圭一

浜浦小学校(昭62年度)

ときわ会本部では、年六回の理事会が開催されている。今年度の理事会で従来と少し違っているのは、休憩時間がきちんと確保される点だ。議題も検討事項も決まらずに、休憩時間がきちんと確保される点だ。議題も検討事項も決まらずに、休憩時間がきちんと確保される点だ。議題も検討事項も決まらずに、休憩時間がきちんと確保される点だ。

結果、休憩時間に参加者同士が自然と語り合う場が生じた。所属支部の状況が話題になることもあれば、単に個人的な話題に終始することもあるが、会を重ねることにこれまでさほど話をしたことのないことが実感できている。

「人と人とのつながり」を理事たちもまた体感してほしいという本部からのメッセージなのだろう。

ときわ会は長い時間をかけて「人と人とのつながり」を育ててきた。これを得ることが会に所属する意味なのだと思う。ときわ会員であるのなら、「何物か」を得られたいのだ。

「何物か」を獲得する手法として、ときわ会が磨きをかけてきたのが「人と人が同じ場で直接かわり合う」ことだ。だから多少は

煩わしくとも、現地に足を運んで人と向かい合うことが、実はもっとも効率よく「何物か」を得る方法なのだ。

今後「オンラインによるつながり」はより進化し、「何物か」を得る重要な手法と位置付いていくはずだが、その時も「同じ場で直接かわる」ことは今と変わらず大きな意味をもつことだろう。

さて、今年度のときわ会教育研究発表会の会場は、五年ぶりに附属新潟小中学校となった。私たちのお膝元だ。そこで、中央西支部の会員に伝えたい。

十一月十六日、附属新潟小中学校に足を運ぼう。会場で、直接、人とつながって学ぼう

直接つながって学ぶ、その価値を体感していただきたい。

本部事業に頼るよう心苦しくもあるが、当地を舞台とする有益なイベントを見逃す手はない。

若手や中堅はもちろんだが、平素彼らに「教員は学び続けなければならぬ」と伝えていく管理職や行政職の皆さんにも、足を運んでいただければと思う。



令和6年度
ときわ会
新潟中央西
支部役員

支部長	小林 圭一 (昭62 浜浦小)
副支部長・交流委員長	阿部 修 (昭62 新潟柳都中)
副支部長・研修委員長	金子 淳嗣 (昭63 白山小)
組織委員長	諸橋 智 (平元 日和山小)
広報委員長	大矢 隆 (平元 有明台小)
学校運営研修委員長	後藤 和広 (平元 鏡淵小)
特別支援教育委員会	金山 光宏 (平元 白新中)
竹島 克也 (平8 新潟小)	
会計監査	後藤 孝 (平2 相談センター)
難波 宏臣 (平11 はまぐみ)	
幹事長	里村 穰 (平11 浜浦小)
会計幹事	長谷川 亮 (平17 浜浦小)
幹事	阿部 陽子 (昭63 浜浦小)
八千代会代表	大竹 肇 (昭45)
八千代会副代表	齋川 英子 (昭48)
山崎 秀一 (昭52)	